PMS-2303(21032)

施工説明書

電気温水器専用
熱湯用単水栓

SF-WCH120型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

1. 施工の前に

安全上のご注意

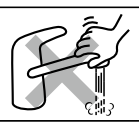
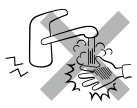
●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明

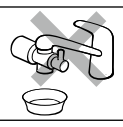
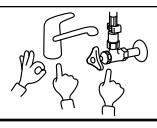
警告 …「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意 …「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠ …「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

(禁止) …「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
(分解禁止) …「分解してはいけません!」
(指示) …「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 警告

(禁止)	**給湯機器の温度設定は93℃以下で使用してください。** ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	
(分解禁止)	**修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理しないでください。** ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
(禁止)	**熱湯を出しながら吐水口を動かさないでください。** ※熱湯が飛び散り、ヤケドをする恐れがあります。	
(禁止)	**本体がガタついた状態で使用しないでください。** ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	

⚠ 注意

(禁止)	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
(禁止)	**水栓先端への他の器具の接続はしないでください。**	
(禁止)	**水道水の飲用基準に適合した水をお使いください。** ※体調を損なう恐れがあります。	
(指示)	**各接続部は水漏れのないように確実に接続してください。**	

本製品の仕様と条件

使用可能水質	水道水(※1)	
使用最高温度	95℃以下	
使用環境温度	−20℃〜40℃(※2)	
給水給湯接続	PJ1/2	
圧力条件	0.05MPa(流動圧)〜0.085MPa(静水圧)	
取付条件	水栓取付穴:φ24±2mm	カウンター厚:5〜30mm
備考	飲料用電気温水器以外の給湯機器との接続はできません	

※1:水道法に定められた飲料用の水質基準に適合する水をいう。
※2:ただし、内部の水を凍結させないでください。

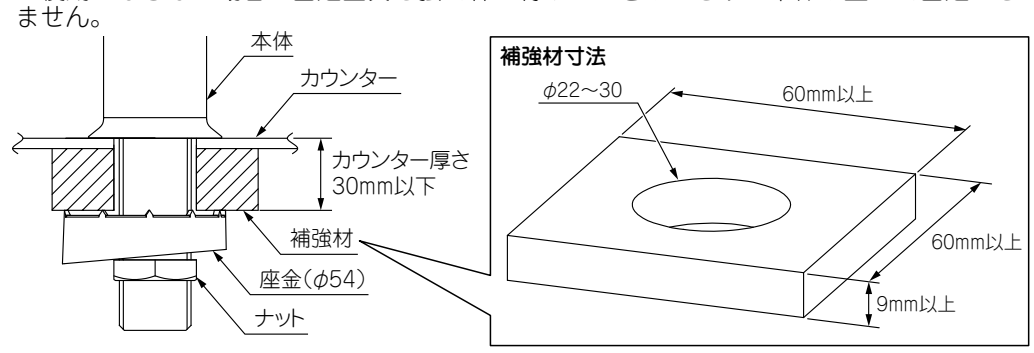
施工前のご注意

取付けに必要な工具

●取付には別売の専用工具KG-1またはKG-2が必要です。

取付面について

●カウンター裏面には、以下のサイズの割れにくく固い補強材(合板など)をご使用ください。ご使用にならない場合、固定金具を強く締め付けることができず、本体が正しく固定できません。



配管について

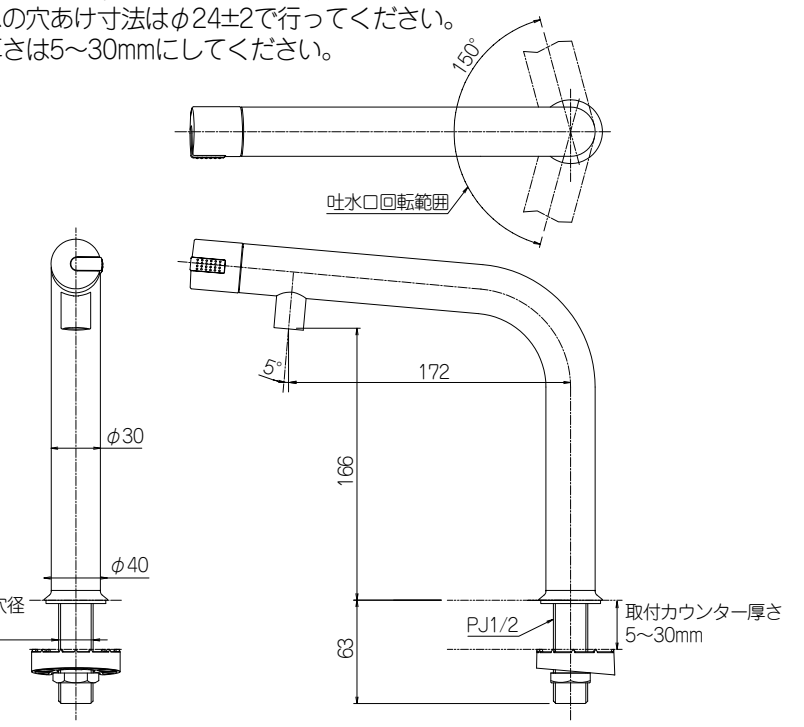
●給水は、水道水に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には、使用できません。
●必ず **配管中の異物を完全に洗い流してください。**
●フレキシブル管との接続には、必ず耐熱シートパッキンを使用してください。

その他の注意点

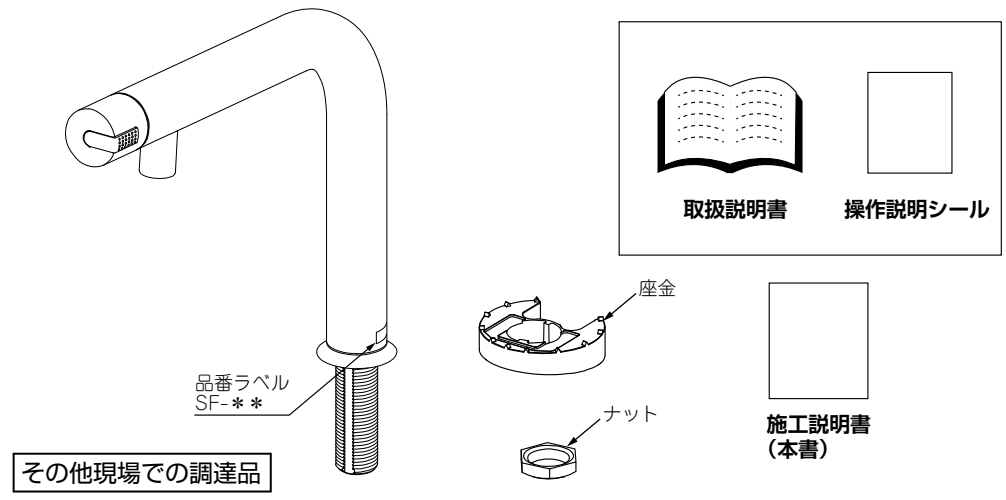
●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱・取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。
●給湯機器の温度設定は93℃以下で使用してください。
※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。

施工完了図

●品番によっては、図と現品の仕様が一部異なります。
●カウンターへの穴あけ寸法はφ24±2で行ってください。
●カウンター厚さは5〜30mmにしてください。



部品の確認



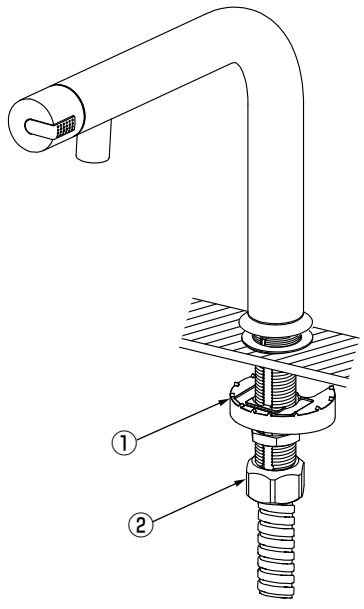
その他現場での調達品

ステンレスフレキシブル管(1/2B、呼び径13mm)、1/2B耐熱シートパッキン

株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173
受付時間 平日 9:00〜18:00
土日・祝日 9:00〜17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

施工手順



①水栓本体の固定
②水栓本体とフレキシブル管(※)の接続
③操作説明シールの貼付け

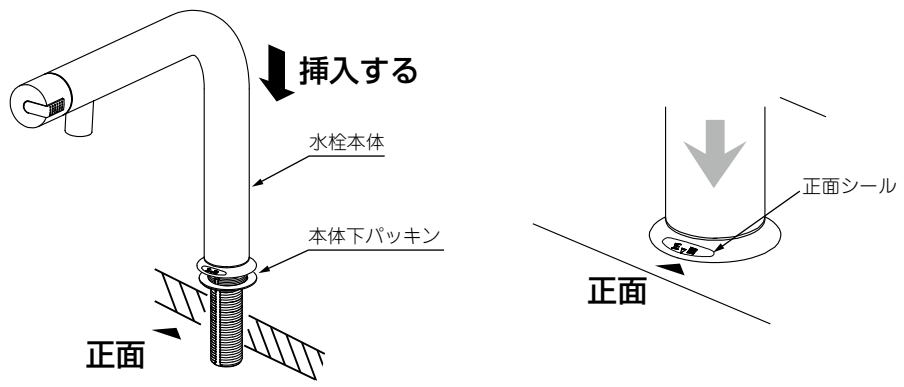
※フレキシブル管は本商品には含まれません。
※接続には、必ず耐熱シートパッキンを使用してください。

2. 施工方法

以下の手順の通り、正しく取り付けてください。

水栓本体の取り付け

1. 水栓本体を、正面シールの「▼」マークが正面を向くように挿入する。



2. 座金を固定軸に挿入して、ナットで締め付ける。

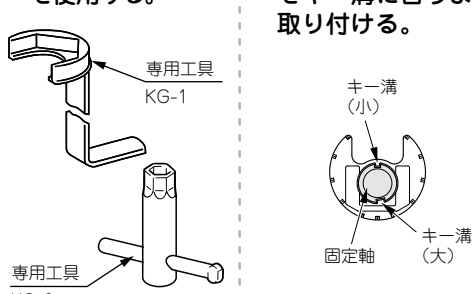
注　意

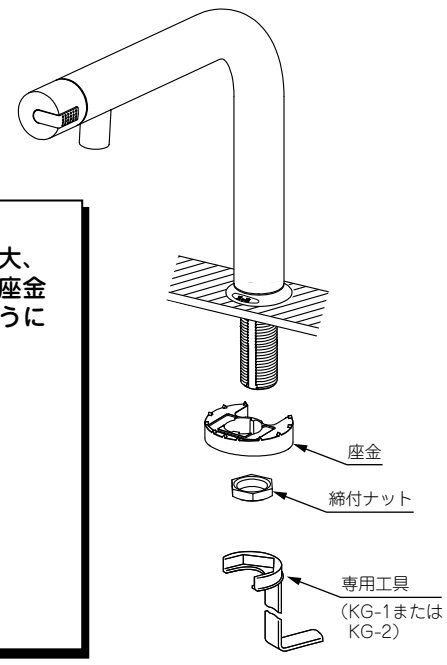
●締付ナットは、本体のガタツキのないようにしっかりと締め付けてください。
※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。

ポイント

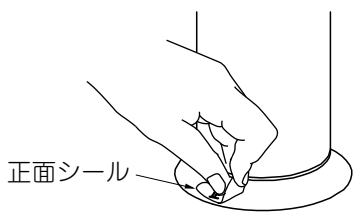
●別売りの専用工具（KG-1またはKG-2）を使用する。

●固定軸にキー溝（大、小）があるため、座金をキー溝に合うように取り付ける。





3. 正面シールを剥がす。



ポイント

●吐水口を動かし、左右対称に回転することを確認する。
※品番によっては、図と現品の仕様が一部異なります。

水栓本体とフレキシブル管の接続

水栓本体にフレキシブル管（別売部品）を取り付ける。

操作説明シールの貼り付け

同梱の「操作説明シール」を壁やカウンターの見やすい位置に貼り付ける。

3. 施工後の調節

通水、水漏れ確認

以下の手順で通水作業をし、水漏れのないことを確認してください。

⚠ 注　意

●配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください

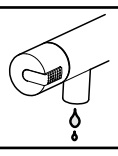
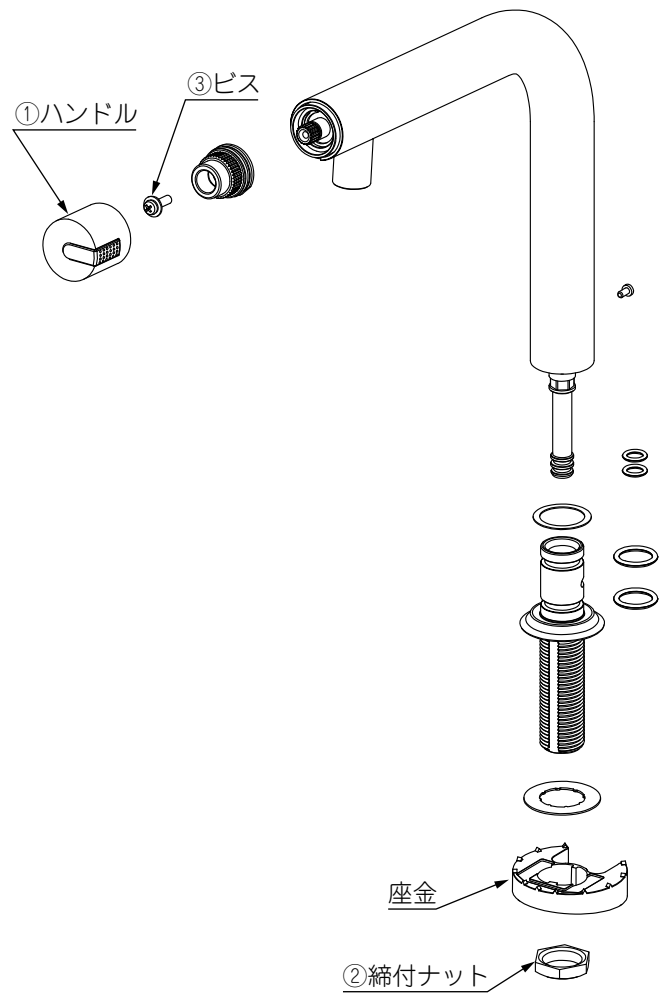
1. 水栓が正しく接続されていることを確認する。

2. ハンドルが止水の位置にあることを確認する。

3. 止水栓を開け、水栓のハンドルを開けて通水し、各接続部からの水漏れがないことを確認する。

4. 引渡前の確認

お客さまに引き渡す前にもう一度通水し、次のような現象がないか確認してください。

現　象	点　検　内　容	点検箇所	処　　置	参照項目
吐水しない	止水栓は開いているか？	－	止水栓を開く。	
	断水中ではないか？	－	回復するまで待つ。	
流量が少ない	圧力は十分か？	－	圧力条件を確認する。	施工の前に「本製品の仕様と条件」
	止水栓は十分開いているか？	－	止水栓を十分開く。	
	配管途中に大きな抵抗はないか？	－	抵抗となる障害物を取り除く。	
	ハンドルを絞りすぎていないか？	①	ハンドルを開く。	
水が止まらない	ハンドルの締めは十分か？	①	ハンドルをしっかり締める。	
希望の温度の湯が出ない	給湯器から十分な温度のお湯がきているか？	－	給湯器の設定温度を確かめる。	
	給湯器のお湯を使い切っていないか？	－	再沸きあがりまで待つ。	
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	②	締付ナットをしっかり締める。	
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	③	ビスをしっかりと締める。	
		①	ハンドルを水栓本体にしっかりと押し込む。	取扱説明書「修理を依頼される前に」
ハンドル表示がずれる		①	ハンドル取り付け角度の調整をする。	取扱説明書「修理を依頼される前に」

以下の現象は、故障ではありません。
●水を止めた後に少しのあいだ水が垂れますが、吐水口の内部に溜まった少量の水が排出されるためで、故障ではありません。